

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護認定更新時、状況変化や対応困難な場合においてはカンファレンスで話し合い、現状に即した介護計画の作成に努めているが、アセスメント後のニーズや課題、モニタリングの結果が計画書に明確に反映されていない。	個々の入居者のアセスメント、モニタリングを職員で行い、家族の意向を反映した介護計画を作成する。	アセスメントに基づき、職員やご家族が見て分かりやすい課題と目標、それに対する具体的、個別的なサービス内容を表記するように努める。	12ヶ月
2	35	非常災害対策委員会を設置し、備蓄や、避難訓練の準備をしているところであるが、昼夜を問わず、入居者が避難できる方法を全職員が身につけるまでには至っていない。	災害対策に関する職員の意識向上を目指し、定期的に避難訓練を実施し、地域との協力体制を築いていく。	併設するデイサービスとの合同避難訓練や、地域での防災訓練にも入居者と職員が参加して、様々な場面を想定した避難訓練を繰り返し、安心できる避難体制を作り上げる。	12ヶ月
3	40	ユニット別に課題は違うが、一人一人の好みや力を活かしながら、ご入居者と職員と一緒に準備やお食事を楽しめるように環境整備やケアの見直しが必要である。	食事の介助や見守りが必要なご入居者もおられ、職員、ご入居者が一緒に食事を楽しめるような雰囲気を作る。	より快適に食事ができますようにケアの工夫をし、テーブルやイスの配置を変えたりして、みんなで楽しみながら食事が出来るように配慮する。又ご入居者を巻き込んだ調理や片付けが出来るように声かけをしていく。	3ヶ月
4	49	一人一人のご希望に沿った外出支援に努めているが、歩行が困難になっている方や、外出の意志表示が見られない方にも配慮した支援をしていかねばならない。	ご希望に応じ、ご近所の理髪店やスーパーへの買い物、又公園や神社への散歩などの外出支援をし、ご家族と協力して、墓参りやドライブにもお誘いする。	移動には個々に応じて車椅子やシルバーカーを利用して、短時間でも気分転換が出来るように支援をする。ご家族が面会に来られた時などに、ご協力をお願いする。	3ヶ月
5	52	食堂兼居間にはソファを置きゆっくりと過ごして頂けるような空間を作っているが、景観を望める窓から続く廊下部分には広いスペースがあるが活用できていない。	限られた空間ではあるが、廊下のスペースを活用してご入居者が思い思いに過ごせるような空間をつくる。	エレベーター前の空間を利用してテーブルやイスなどを置いたりして、景色を見ながらコーヒーなど飲まれるような、雰囲気作りをする。壁なども殺風景にならぬよう絵などを飾ったりし、温もりのある住まいを提供する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。